

◆団体基本情報

No.	16	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団		
所在地	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-3-9						
電話番号	022-215-3201		FAX番号	022-215-3575		所管 部局	文化観光局 スポーツ振興課
団体ホームページ	https://www.spf-sendai.jp/						
代表者職氏名	理事長 中塚 正志			設立年月日	平成3年3月26日		
基本財産等	100,000 千円		市の出捐額(割合)	100,000 千円 (100.0%)			
設立目的	仙台市民が生涯にわたりスポーツ並びにレクリエーションに親しむことができるよう、その普及振興を図り、また、スポーツ施設を広く市民の利用に供することにより、もって、市民の心身の健全な発達と明るく豊かで潤いのある市民生活の実現に寄与することを目的とする。						
事業概要	(1) 各種スポーツ等の普及振興事業 (2) 各種スポーツ等の情報の収集及び提供事業 (3) 各種スポーツ等に関する調査及び研究事業 (4) 仙台市等から委託された事業、業務等の受託事業 (5) 仙台市のスポーツ施設等の管理運営事業						
評価対象決算期	令和5年4月1日～令和6年3月31日						

◆人員等の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	61.5 歳	62.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,318 千円	5,271 千円	5,312 千円
④職員数	169 人	165 人	154 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
⑤職員平均年齢	44.9 歳	44.9 歳	45.8 歳
⑥職員平均年間給与	3,387 千円	3,552 千円	3,904 千円

◆主要財務データ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①当期経常増減額	33,447 千円	△ 31,768 千円	△ 5,451 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	32,058 千円	△ 33,006 千円	△ 6,704 千円
④一般正味財産期末残高	369,968 千円	336,962 千円	330,258 千円
⑤指定正味財産期末残高	102,870 千円	102,000 千円	101,760 千円
⑥正味財産期末残高	472,838 千円	438,962 千円	432,018 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①市からの補助金	182,022 千円	204,107 千円	211,280 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,231,432 千円	1,252,059 千円	1,255,347 千円
③市に対する収入依存度	91.98 %	90.59 %	89.05 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和5年度事業費
施設管理運営事業	指定管理者として宮城県・仙台市のスポーツ施設の管理運営（10協定17施設）	1,264,853 千円
スポーツ振興事業	令和5年度実績 14施設主催 517事業 参加者数139,791人	78,539 千円
大会運営等事業	令和5年度実績 事業課主催 5事業 参加者数13,173人 スポーツ大会開催・派遣等助成 92件	5,552 千円
情報収集提供事業	河北ウィークリー記事掲載（年16回 約42万部） 事業団HP, 各施設HP	2,552 千円
マイタウンスポーツ活動推進事業	学区民体育振興会や地域団体が主催するスポーツイベントの開催助成, マイタウンスポーツデー開催	5,994 千円
スポーツコミッション事業	スポーツイベントの誘致及び開催支援, スポーツシンポジウム, セミナー等の開催, 「せんだいボランティアステーション」運用	8,219 千円
施設管理受託事業	指定管理者間（民間企業含む）の運営管理, 修繕及び利用に係る調整業務並びに広報の実施等	66,656 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、施設利用者数・自主事業参加者数は回復傾向にあり、スポーツの社会的需要は増している状況である。誰でも参加できる自主事業の開催、地域スポーツの普及発展、スポーツイベントの誘致とそれを支える人材の育成など公益的事業を推進することが、仙台市スポーツ推進計画の実現に寄与するものとする。事業実績の検証と利用者の需要把握から改善を重ねていき、市の期待する役割を全うするよう努めていく。	年齢や障害の有無にかかわらず、市民がそれぞれの状況に応じた運動機会を持つことができるよう事業展開を図っていただき、施設利用者数・自主事業参加者数をコロナ禍前の水準まで引き上げていただきたい。また、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、より一層スポーツによる地域コミュニティの活性化やスポーツイベント開催によるにぎわいの創出等の取り組みを期待する。
2. 業務・組織管理	当団体は設置目的達成のため、第2期経営計画の基本方針に沿って事業を展開してきた。計画性を持って事業活動を行い、必要に応じて特定費用準備資金の積立、取崩を行った。人材育成では「人材育成計画」と「コンプライアンス推進計画」に基づいて職員の資質向上に努め、スポーツ施設管理士や、芝草管理技術者といった専門能力を高める研修に参加した。今後も経営資源の把握と改善に努め、組織体制の整備と組織力の強化を図っていく。	職員の年齢構成に配慮した長期的な視点での人材育成と組織管理に努めていただきたい。また、施設利用者はもとより、市民全体から信頼される組織として、資質向上やコンプライアンス推進に向けた取り組みを着実に実施していただきたい。
3. 財務状況	新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、自主事業などの参加者数は増加傾向にあるが、コロナ禍以前までは回復していない。加えて、燃料費高騰・人件費上昇による光熱水費、修繕費等のあらゆる費用が上振れしているが、財務状況は健全を保っている。なお、当期経常収支が赤字になっているものの、計上されていない退職給付引当金等による所要額を計上した場合には黒字になる。今後も自主事業による収益確保や効率的な施設運営に努め、自立安定的な経営を進めていく。	当期経常収支は赤字になっているものの、評価マニュアルに定める債務超過の判定においては、引当金等も加味して評価することと定められており、その結果としては問題ないものと解される。全体的には良好な運営状況である。今後も、自主事業の収益確保や適正な資金管理に努め、公益目的事業の実施や自立安定的な経営に取り組んでいただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	老朽化した施設の維持保全・人材の確保・民間企業等との競合などの課題はあるが、関係団体と連携を密にして公益的使命を果たし、仙台市スポーツ推進計画実現に寄与していく。仙台市のスポーツ振興のため、地域スポーツの普及振興から大規模なスポーツイベントの誘致・開催まで行い、賑いの創出と明るく豊かで潤いのある市民生活の実現を目指していく。	今後も本市のスポーツ推進計画の目指す姿「人とまちが元気に輝き続ける-Sports City SENDAI-」の実現に向け、関係団体と密に連携し、社会の変化に柔軟に対応しながら、積極的な事業展開に努めていただきたい。